

頭の中の壁を壊す？ 失敗することが大切って 本当なの？

とにかく翻訳をしない。
上達のヒントは
意外なところに。

日本人は、文法も英単語も知っているのに英語でのコミュニケーションが苦手です。話すよりも前に、間違えたら恥ずかしいと考えてしまうこと、話しながら英語を日本語に、日本語を英語に、翻訳してしまうことが苦手の原因をつくっているんですね。英語でコミュニケーションをするために、最初にしたのが、頭の中の高い壁を壊すこと。既成概念を取り払うだけで、英語はずっと身近な言語になるのです。言語は生きているため、日常会話で使われる表現もどんどん変化し、多様になっています。日本で若者言葉といわれる言葉が生まれ、浸透しているのと同じです。間違えたら恥ずかしいという思いを捨て、どんどん失敗することで、コミュニケーション能力が上達するんですよ。

5分でもいいから
毎日使う。
英語はアウトプットが大切。

例えば、「私は4人家族です」と英語で言わせると、多くの学生が「I have four families」と答えます。しかし、「four families」は4つの家族を意味する言葉。「I have four people in my family」も自然な表現ではありません。「There are four of us (in my family)」などといえます。だからこそ、英語をマスターするためには海外に行くことが大切なのです。知らない土地で毎日英語を使っているうちに、恥ずかしいと思う気持ちがなくなり、自信がってきます。さらに、ネイティブの会話を聞きながら生きた表現を学ぶことも可能です。英語はたとえ5分でも毎日使うことが大切。単語や文法をたくさん覚えても、アウトプットをしないと上達しないのです。国際英語学科では、国内外で英語を使う環境を整え、たくさん話すことで、英語でのコミュニケーションがマスターできるように指導します。4年後、あなたは高い英語力を身に付けて社会に飛び立っていくに違いありません。

外国語学部 国際英語学科

ポール・ウィキン 先生

初めて日本を訪れたのは、高校3年生の時。6週間のホームステイを経験して日本が大好きになった。同時に、日本での英語の授業に疑問を感じたことも確か。この経験をもとに、外国語を身に付けるベストな方法を研究してきた。「語学は夢を実現するためのツールの一つ。夢をかなえたいというモチベーションがあれば、英語のコミュニケーションも上達します」。



私の マストアイテム



スマートフォン

通勤時間を利用して、スマートフォンで漢字を勉強しています。駅のホームで、電車の中で、どこでも学びたいものが学べるのがスマホの魅力。努力の甲斐あって、日本語検定の1級を取得しました。将来的には英単語を学ぶための名城大学専用アプリも開発したいと考えています。

